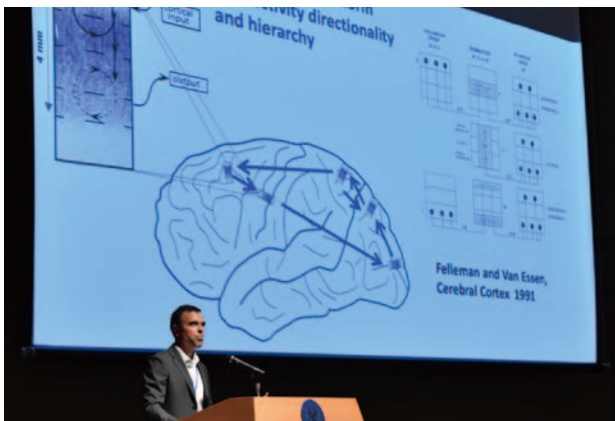


文部科学省共同利用・共同教育拠点
「社会神経科学研究拠点」
第三回ヒト脳イメージング研究会



2019年9月6日（金）、7日（土）の2日間、玉川大学 University Concert Hall 2016 Marble、ELF Study Hall 2015を会場として、三回ヒト脳イメージング研究会を開催しました。この研究会は、脳科学研究所が文部科学省から認定されている共同利用・共同研究拠点「社会神経科学研究拠点」の研究会開催支援の一環として開催されています。



3年前に本研究会を初めて開催して以来、毎年玉川大学で開催しており今年度で3回目の開催となりました。一般参加者273名と一般演題数69の登録は過去最多となり、研究会が順調に発展しつつあることを実感することができました。また、一般口演・若手奨励賞発表の演者の多くが自発的に英語で発表を行い、向上心の高さも見られました。今回、国内の講師10名に加え、米国NIHから機能的MRIの発明者の一人であるPeter Bandettini先生をお迎えし、プログラムとして、特別講演2件、教育講演1件、シンポジウム2件（演題8題）、国際シンポジウム1件（演題3件）を行いました。すべての講演で内容のレベルが高く、最先端の研究成果を学ぶ機会となり、参加者の満足度も非常に高いものとなりました。

この研究会のもう1つの大きな役割として、日本全国

のMRI、PETを中心としたヒト脳画像研究を行っている拠点の連絡会的な機能をもっています。拠点の代表を中心に構成される運営委員会があり、この研究会開催に合わせて運営委員会も開催しています。この運営委員会では、各施設におけるMRIの管理体制などの議論も行われています。

この研究会は立ち上がってからまだ3年と若い研究会ですが、すでに国内最大規模の脳画像研究分野の研究会となり、日本全国の主要な研究機関から多くの研究者が参加する研究会へと成長してきました。本研究会は、引き続き来年度以降も玉川大学で開催する計画となっており、この研究分野の研究の進展、若手研究者育成に、玉川大学脳科学研究所が少しでも貢献できればと思っています。

（脳科学研究所 松田哲也）

